



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成25年8月号
国民生活産業・消費者団体連合会

■第3回 災害対策委員会

7月26日、東海大学校友会館にて開催。31名の委員の方にご参加いただきました。

災害対策委員会では、メーカー・卸・流通サービスの事業者と業界団体、消費者団体から45企業・法人の委員の皆様が集まり、生活者視点で大震災への備えを進めるべく活動を行っています。

第3回目となる今回は、講師として内閣府男女共同参画推進官の澤井景子様をお招きし、男女共同参画の視点からの災害対策への内閣府男女共同参画局の取り組みについてお話を伺いました。

本年5月、内閣府男女共同参画局は『男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針』を作成しました。本指針では「東日本大震災を含む過去の災害対応における経験を基に、男女共同参画の視点から必要な対策・対応について、予防、応急、復旧・復興等の各段階において地方公共団体が取り組む際の基本的事項」を示しています。消防団、自主防災組織、NPO、企業、大学等が防災・復興活動に取り組む際にもぜひ参考にしてほしいとのことでした。

ご説明の後、委員会メンバーにて活発な質疑応答、意見交換がなされました。



会議後半ではまず事務局より、会員の皆様が取組まれている災害リスク削減の事例11件をご紹介いたしました。その後、委員の皆様により、各社取り組みについての情報交換・意見交換を実施しました。委員の皆様による議論を踏まえ、当委員会は具体的取り組みの第一歩として、会員の皆様の取り組み事例集を作成することといたしました。

事例集の作成、好事例の波及を通じて、生団連では、生活者が直面する災害リスクの継続的な削減を図り、有事の「地域社会生活の継続」に寄与すべく、引き続き活動を進めてまいります。

※会員の皆様へ
事例募集につきましては後日あらためてご案内をさせていただきます。何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。



内閣府男女共同参画局
男女共同参画推進官
澤井景子様



○ 生団連の活動の詳細につきましては、年4回の『生団連会報』および生団連のホームページに掲載されています。

生団連は清水信次会長(㈱ライフコーポレーション会長)の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>

■イザ！カエルキャラバン！合同研修会に参加

新しいカタチの防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を体験してきました。



7月5日、千代田区外神田にあるアーツ千代田3331で開催された『イザ！カエルキャラバン！合同研修会』に生団連事務局が参加しました。地方公共団体の防災担当者や地域の消費者団体など約40名が参加し、紙食器づくりや毛布担架、ジャッキアップゲームなど身の回りにあるものを使ってできる防災プログラムを実際に体験しながら、地域の防災訓練に生かせる技術や知識、システムを学びました。また、神田消防署隊員の方からも応急処置法などを教わりました。

イザ！カエルキャラバン！はNPO法人プラス・アーツが開発した防災プログラムで、子供たちやファミリーを対象に、震災時に必要な技術や知識を身につけてもらう新しい防災訓練のシステムです。阪神・淡路大震災の被災者約170名の声をもとにして、防災を特別扱いするのではなく、「いつもの生活の中で備える」ことをキーワードに、楽しみながら「消火」、「救出」、「救護」などを学べるようにと開発されました。

子供たちが楽しみながら学べる工夫が受け入れられ、現在まで東京、横浜、新潟、静岡、大阪、宮崎など全国60カ所以上で開催されてきた他、その活動は海を渡り、インドネシアやグアテマラ、エルサルバドル、モンゴルなどでも開催されているそうです。

プラス・アーツの永田宏和理事長によると、「私たちは防災の日常化をテーマに活動してきた。防災に関心の薄い一般の方々にも災害に対する備えをしてみようと思ってもらえるよう、日常の生活の延長でできる防災を紹介したい」とのことでした。



■定例勉強会を開催

7月18日、憲政記念館にて国際経済研究所と共催で定例勉強会を開催いたしました。

今回は『日中友好？の原点』というタイトルで、元外務大臣秘書官の渡部亮次郎先生にご講演いただきました。

渡部先生はNHKの政治記者を務めた後、1978年日中平和友好条約が締結された時の園田直先生（元外務大臣）の秘書官として、今の日中関係の礎を築く現場に立ち会われました。秘書官時代に行われた日中国交回復、尖閣諸島問題についての中国側とのやり取りを詳細に説明いただきました。またそのやり取りの中にあつた真の意味についてもわかりやすく解説をいただきました。

当時の政治や外交の舞台裏の情報が惜しげもなく披露された講演内容に、参加された方も熱心に耳を傾けられました。また講演後は、経済発展著しい中国への対応方法を中心に、活発に質疑応答が行われました。



元外務大臣秘書官 渡部亮次郎先生